

オマーン*

国際動向・戦略分析グループ 安 泰勲**

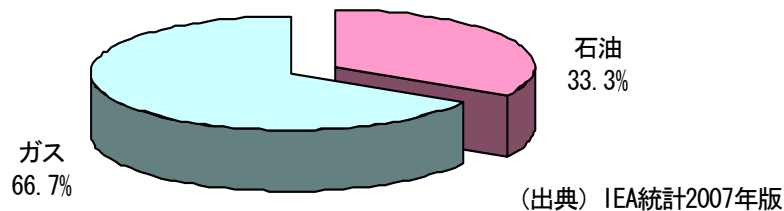
1. サマリー

1. エネルギー事情

オマーンの石油および天然ガスの埋蔵量は、中東産油国としては相対的に大きくない。しかし、LNG 輸出量は、2006 年実績で中東でカタール(310.9 億 m^3)に次ぐ第2位となっており(115.4 億 m^3)、その91%がアジア地域に輸出されている。また、ホルムズ海峡外の石油・ガス輸出国として地政学的な重要性も高い。

- (1) 一次エネルギー供給量 (2005 年) : 石油換算 1,396 万トン
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2005 年) : 石油換算 5.44 トン/人
- (3) エネルギー自給率 (2005 年) : 427% (純輸出国)
- (4) エネルギー起源 CO_2 排出量 (2005 年) : 二酸化炭素 2,698 万トン
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO_2 排出量 (2005 年) : 二酸化炭素 10.51 トン/人
- (6) エネルギー源別可採年数 (2006 年末、BP 統計) : 原油 20.5 年、天然ガス 39.0 年

一次エネルギー供給構成 (2005年)



2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- オマーンの主要なエネルギー政策担当機関は、石油・ガス省である。また、その管轄下に、エネルギー事業の遂行機関としてPDO¹等がある。

(2) 基本政策

- 石油・ガス収入が GDP の 48%相当 (2006 年) に当り、財政上石油・ガスへの依存度が極めて高い。このような依存体質から脱却すべく、経済構造の多角化を推進することがオマーン政府の最優先課題となっている。
- 石油・ガス部門では、外資の積極的な誘致や鉱区開放を通じて石油・ガス生産量の維持・増加を図っている。

*平成 19 年度に経済産業省資源エネルギー庁より受託して実施した受託研究の一部である。この度、経済産業省の許可を得て公表できることとなった。経済産業省関係者のご理解・ご協力に謝意を表すものである。

** 現在、Korean Gas Corporation

¹ Petroleum Development Oman

(3) 最近の動向

- 近年、原油生産量が減りつつあるオマーンはEOR²を積極的に推進している。PDOは2007年5月、UAEのDodsaiおよびオマーンのGalfarの間でオマーン北部のカルン・アラム (Qarn Alam) 油田でのEORプロジェクトに関するEPC契約を締結した。この他にも、PDOはHarweel、Marmul、Fahud油田でEORを行っており、OccidentalはMukhaizna油田でEORを通じて従来の8,000B/Dから150,000B/Dまで生産量を引き上げる計画である。
- 輸出用LNGと国内ガス消費（発電用及び油田EOR用）の増加で最近天然ガス需給が逼迫化しつつあるオマーンは、カタールとイランからパイプラインを通じて天然ガスを輸入する計画を進めている。2008年からドルフィンプロジェクトによってカタールからUAEを経由してガスを供給されることが予定されており、また2007年7月には、イランと10億cf/dのパイプラインガス供給契約を締結している。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- 2006年におけるオマーンからの原油輸入は316万トンで、日本全体輸入量2億864万トンの1.5%を占めている。LNGは222万トンが輸入され、同5,976万トンの3.7%を占めた。
- 製油所・LNGターミナル・ガス田鉱区などで、多数の日本の企業が参加している。

2. 主要エネルギー指標

(2005年)

(1)	一次エネルギー供給量	13.96	石油換算百万トン
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	5.44	石油換算トン/人
(3)	GDP当たりの一次エネルギー供給	0.61	石油換算トン/千ドル
(4)	エネルギー自給率	427	% (純輸出国)
(5)	エネルギー起源CO ₂ 排出量	26.98	二酸化炭素百万トン
(6)	一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量	10.51	二酸化炭素トン/人
(7)	エネルギー源別構成率		
	石炭	0	%
	石油	33.3	%
	ガス	66.7	%
	原子力	0	%
	水力 再生可能エネルギー等	0	%
(8)	エネルギーの輸入依存度	—	%
(9)	石油の輸入依存度	—	%
(10)	輸入原油の中東依存度	—	%
(11)	原油輸入先	第1位	—
		第2位	—
		第3位	—

(出所) (1)~(4)及び(7)~(9)はIEA「Energy Balances of Non-OECD Countries2004-2005」2007年版

(5)~(6)はIEA、「CO₂ Emissions from Fuel Combustion 1971-2005」2007年版

(10)~(11)はBlackwell、「World Oil Trade」2007年9月版

² Enhanced Oil Recovery : 石油生産における増進回収法を指す。